

## 菊地勝裕氏

マサル不動産社長

独自の空室対策で賃  
貸物件をサポート

供給過多との見方もある札幌の賃貸市場において、苦戦を強いられている老朽化物件の再生に尽力。独自の空室対策で満室物件へと導いている。創業から6年が経過し、管理戸数は当初の約5倍に増加。「口コミや顧客オーナーからの紹介がほとんど」と理想的

な形で業容を拡大している。それに伴い売買や新築企画の依頼も増加。14年度は前年比140%の売り上げを達成する見込みで、創業から継続している増収増益の連続記録をまた1つ伸ばす。

「首都圏の物件価格の高騰を受け、本州の投資家が札幌の市場に目を向けました」と14年は道外にも顧客を拡大。新たな年への弾みをつけた。

15年は建築費の慢性的な高騰を受け、リノベーションや木造の新築企画を提案していく方針。相続、売却といった出口戦略を顧客とともに考えながら、二人三脚で歩みを進めていく。

(きくち・かつひろ)  
1973年生まれ、94年  
建築・設計の専門学校を  
卒業後、大手不動産会社  
勤務を経て、2008年  
独立。

情報を先取り、タブーに挑戦

# 財界まぼろし

昭和三十九年三月三日第三種郵便物認可  
平成二十六年十二月十五日発行 第五十三巻 第一号(毎月十五日発行)

札幌市長選

若手経済人が決起

◇本間奈々応援団、の顔ぶれ

新年

特大号 2015年

空前の◇ホタテバブル、で浜はホクホクだが…

道内水産加工場を狙う中国・アメリカ巨大資本

◇北海道観光振興機構改革、で燃える近藤龍夫会長に道庁◇タジタジ、  
タイムリミットまで1年 進まぬ新幹線駅前開発、北斗市長・高谷寿峰を直撃  
大谷喜一(マインズ社長)が2015年秋オープン予定の新ビル札幌構想を語る

特別グラビア ファイターズ入団会見&ファンフェス◇感動と喝采と、

